

障害福祉サービス等に関するアンケート

障害児用

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

広島市では現在、平成27年度から平成29年度までを計画期間とする第4期広島市障害福祉計画の策定に向けた取組を進めています。そのため、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てることを目的にアンケート調査を実施することにいたしました。

この調査の対象者は、身体障害者手帳、療育手帳をお持ちの18歳未満の方の中から無作為に抽出して選ばせていただいています。

ご回答いただいたアンケートの内容については、個人を特定できるような形で公表されることは一切ありませんので、ご協力くださいますようお願いいたします。

【お答えいただく前に】

- このアンケート票に名前を書いていただく必要はありません。個人の秘密は守られますから、安心してお答えください。もし、答えたくないことがありましたら、無理にお答えいただく必要はありません。
- この調査は、できるだけ障害のあるご本人がお答えください。
ご本人が記入できない場合やご本人が答えにくい場合には、代わってどなたかが、ご本人の意見を聞きながら、又は、ご本人の立場に立って、気持ちを考えながらお書きください。
- 回答は、☐ の中のあてはまる項目の番号に○をつけてください。なお、「その他」の場合には、() の中にその具体的な内容をお書きください。
- 点字版、音声コード版も用意しておりますので、必要な方は下記までご連絡いただければ、ご自宅まで郵送します。

ご記入いただいたアンケート票は、8月〇〇日（〇曜日）までに、同封の返信用封筒により、広島市役所までご返送ください。切手は不要です。

なお、ご返送にあたって、封筒に差出人であるあなたの名前や住所を書いていただく必要はありません。

連絡先

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

広島市健康福祉局障害福祉課

電話 082-504-2147

FAX 082-504-2256

Eメール shougai@city.hiroshima.jp

- あなた（障害児ご本人）ご自身のことについておたずねします。

問1 このアンケートを記入しているのはどなたですか。あてはまるものに1つ○をしてください。（以下「○は1つ」と表記。）

1. 本人	2. 親（父・母）	3. その他の親族
4. 成年後見人	5. 利用事業所の職員	
6. その他（		）

問2 あなた（障害児ご本人。他の問も同様。）の年齢、性別について記入してください。

年齢（数字を記入）	性別
	1. 男 2. 女

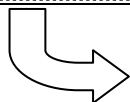
問3 あなたの住まいはどちらですか。（○は1つ）

1. 中区	2. 東区	3. 南区
4. 西区	5. 安佐南区	6. 安佐北区
7. 安芸区	8. 佐伯区	9. その他

問4 あなたの障害の種別や、お持ちの障害者手帳の等級等はどれですか。

(1) 身体障害者手帳（○は1つ）

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	



身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。

身体障害の種類（部位）はどれですか。（○はいくつでも）

1. 目が不自由（視覚障害）
2. 耳が不自由（聴覚又は平衡機能障害）
3. ことばが不自由、ものがかめない（音声・言語・そしゃく機能障害）
4. 手足が不自由（上肢機能障害、下肢機能障害、移動機能障害、体幹機能障害）
5. じん臓、心臓、呼吸器、肝臓、小腸又はぼうこう・直腸の障害（内部障害）
6. ウイルスによる免疫機能の障害（免疫機能障害）

(2) 療育手帳（○は1つ）

1. ㊶	2. A	3. ㊷	4. B	5. 持っていない
------	------	------	------	-----------

(3) 精神障害者保健福祉手帳 (〇は1つ)

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 持っていない
-------	-------	-------	-----------

(4) 自立支援医療 (精神通院) 受給者証

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

(5) 発達障害 (発達障害の診断名)

1. アスペルガー症候群又は高機能自閉症	
2. 自閉症	3. 1、2以外の広汎性発達障害
4. 学習障害 (LD)	5. 注意欠陥多動性障害 (ADHD)
6. その他 ()	
7. ない	

(6) 高次脳機能障害

1. ある	2. ない
-------	-------

(7) 難病

1. 難治性疾患克服研究事業 (130疾患) の対象になっている難病
2. 関節リウマチ
3. その他
4. ない

問5 世帯の1か月あたりの収入 (ご家族による記入をお願いします。)

1か月あたりの収入	約	円
-----------	---	---

問6 世帯の1か月あたりの収入の内訳 (ご家族による記入をお願いします。)

事業による収入	約	円
給与による収入	約	円
工賃 (就労支援サービスや作業所での活動により支給される収入)	約	円
年金 (障害基礎年金、老齢基礎年金、遺族年金等の年金)	約	円
手当等 (特別児童扶養手当等の手当、心身障害者扶養共済年金)	約	円
仕送りや家族の援助による収入	約	円
生活保護	約	円
その他 ()	約	円

● 生活の場についておたずねします

問7 あなたの現在の住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

1. 持ち家（分譲マンションも含む） → 問8へ
2. 市営住宅、県営住宅等 → 問8へ
3. 民間の賃貸マンション・借家・アパート → 問8へ
4. 寮・社宅・公務員住宅等 → 問8へ
5. グループホーム、福祉ホーム（バリアフリー化され世話人などが配置された共同住宅）
→ 問10へ
6. 入所福祉施設、生活訓練施設 → 問9へ
7. 病院 → 問9へ
8. その他（ ） → 問10へ

問8 問7で1から4のいずれかに○をつけた方におたずねします。あなたが、一緒に住んでいる方はどなたですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|--------|---------|-----------|
| 1. 親（父・母） | 2. 祖父母 | 3. 兄弟姉妹 | 4. その他の親族 |
| 5. 友達・仲間 | 6. いない | 7. いない | |
| 8. その他（ ） | | | |

→ 問10へ

問9 問7で「6. 入所福祉施設、生活訓練施設」又は「7. 病院」に○をつけた方におたずねします。施設や病院を出て地域で暮らすとしたら、不安に思うことは主にどんなことですか。(○は3つまで)

1. 住まいが見つかるか
2. 支援をしてくれる人や仲間がいるか
3. 家族が反対するのではないか
4. 生活費が確保できるか
5. 困ったときの相談や緊急時の援助が受けられるか
6. 地域（近所）の人達が障害を理解してくれるか
7. 地域（近所）の人達と友達や仲間になれるか
8. 交通機関や医療機関などの生活環境が整っているか
9. どんな生活になるかわからないのでなんとなく不安
10. 特に不安はない
11. わからない
12. その他（ ）

→ 問10へ

問 1 0 全員^{ぜんいん}におたずねします。あなたは、今後^{こんご}（将来^{しょうらい}）どこで暮^くらしたい（暮^くらす予定^{よてい}）で
すか。

- | | |
|---|-----------|
| 1. 現在 ^{げんざい} と同じ住 ^す まい | → 問 1 2 へ |
| 2. 現在 ^{げんざい} と違 ^{ちが} う住 ^す まい | → 問 1 1 へ |
| 3. わからない | → 問 1 2 へ |

問 1 1 問 1 0 で「2. 現在^{げんざい}と違^{ちが}う住^すまい」に○をつけた方^{かた}におたずねします。

(1) 今後^{こんご}（将来^{しょうらい}）どこで暮^くらしたい（暮^くらす予定^{よてい}）ですか。（○は 1 つ）

- | |
|--|
| 1. 持 ^も ち家 ^{いえ} （分 ^{ぶん} 譲 ^{じょう} マンションも含 ^{ふく} む） |
| 2. 市 ^し 営 ^{えい} 住 ^{じゅう} 宅 ^{たく} 、県 ^{けん} 営 ^{えい} 住 ^{じゅう} 宅 ^{たく} 等 ^{とう} |
| 3. 民 ^{みん} 間 ^{かん} の賃 ^{ちん} 貸 ^{たい} マンション・借 ^{しやく} 家 ^や ・アパ ^あ ー ^ぱ ー ^ー ト |
| 4. 寮 ^{りょう} ・社 ^{しゃ} 宅 ^{たく} ・公 ^{こう} 務 ^む 員 ^{いん} 住 ^{じゅう} 宅 ^{たく} 等 ^{とう} |
| 5. グル ^ぐ ー ^ー プ ^ぷ ホ ^ほ ー ^ー ム ^む 、福 ^ふ 祉 ^し ホ ^ほ ー ^ー ム ^む （バ ^か リ ^り ア ^あ フ ^ふ リー ^い 化 ^か さ ^せ わ ^わ に ^ん な ^な が ^が 配 ^{はい} 置 ^ち さ ^さ れた ^た 共 ^き 同 ^{どう} 住 ^{じゅう} 宅 ^{たく} ） |
| 6. 入 ^{にゅう} 所 ^{しょ} 福 ^ふ 祉 ^し 施 ^し 設 ^{せつ} |
| 7. 病 ^{びょう} 院 ^{いん} |
| 8. わからない |
| 9. そ ^た の ^た 他 ^た （ |

(2) 現在^{げんざい}と違^{ちが}う住^すまいに^か変^へわ^わる^る時^じ期^きや^{なん}き^きっ^かけ^けは^は何^{なん}で^です^すか^か。

ア い^いつ^つご^ごろ^ろ（○は 1 つ）

- | |
|---|
| 1. 3 年 ^{ねん} 後 ^ご く ^く ら ^ら い ^い ま ^ま で ^で に ^に は ^は 変 ^へ わ ^わ り ^り た ^た い |
| 2. 10 年 ^{ねん} 後 ^ご く ^く ら ^ら い ^い ま ^ま で ^で に ^に は ^は 変 ^へ わ ^わ り ^り た ^た い |
| 3. 未 ^{みて} 定 ^{てい} 又 ^{また} は ^は わ ^わ か ^か ら ^ら な ^な い |
| 4. そ ^た の ^た 他 ^た （ |

イ き^きっ^かけ^け（○は 3 つま^まで）

- | |
|---|
| 1. 希 ^き 望 ^{ぼう} する ^す 住 ^す まいが ^み 見 ^み つ ^つ か ^か った ^た と ^と き |
| 2. 予 ^よ 約 ^{やく} して ^す い ^{はい} る ^る 住 ^す まいに ^じ 入 ^い れる ^じ 順 ^じ 番 ^{ばん} が ^が き ^き た ^た と ^と き |
| 3. 学 ^が 校 ^{っこう} を ^そ 卒 ^そ 業 ^{ぎょう} した ^た と ^と き |
| 4. 仕 ^し 事 ^{ごと} を ^は 始 ^じ め ^め る ^る と ^と き |
| 5. 仕 ^し 事 ^{ごと} を ^や め ^め る ^る と ^と き |
| 6. 退 ^{たい} 院 ^{いん} する ^る と ^と き |
| 7. 家 ^か 族 ^{ぞく} と ^は 離 ^は れ ^れ て ^く 暮 ^く らす ^じ 自 ^じ 信 ^{しん} が ^が つ ^つ い ^い た ^た と ^と き |
| 8. 支 ^し 援 ^{えん} して ^ひ く ^く れ ^れ る ^な 人 ^{ひと} や ^な 仲 ^な 間 ^{かま} が ^み 見 ^み つ ^つ か ^か った ^た と ^と き |
| 9. 家 ^か 族 ^{ぞく} と ^い っ ^っ しょ ^{しょ} に ^す 住 ^す め ^め な ^な く ^く な ^な った ^た と ^と き |
| 10. わ ^わ か ^か ら ^ら な ^な い |
| 11. そ ^た の ^た 他 ^た （ |

(3) ^{いま}今の^す住まい^{とく}について^{ふまん}特に^{おも}不満^{なん}に思っていることは何ですか。(○は3つまで)

1. ^{たてもの}建物^す(^す住まい)に^{だんさ}段差^かがあるなど^かバリアフリー化^かされていない
2. ^{たてもの}建物^す(^す住まい)を^{かいぞう}バリアフリーに^{かいぞう}改造^{かいぞう}できない
3. ^{しゅうい}周囲^{こうつうきかん}の交通機関^{こうきょうしせつ}や^{かんきょう}公 共 施設^{せいび}などの^{かんきょう}環 境^{せいび}が^{せいび}整備^{せいび}されていない
4. ^{ひつよう}必要な^{とき}時に^{かいご}介護^{いりよう}や^う医療^うのサービス^うを受け^うられない
5. ^{なかま}仲間^{かぞく}や^{いっしょ}家族^すと^{いっしょ}一緒に^す住^すめない
6. ^{じゆうじかん}自由時間^{じゆうじかん}や^{ぷらいばしー}プライバシー^{ぷらいばしー}がない
7. ^{じりつ}自立^{じりつ}できない
8. ^{かいご}介護^{かぞく}などで^{ふたん}家族^{ふたん}に^{ふたん}負担^{ふたん}がかかる
9. ^{やちん}家賃^{ひよう}などの^{たか}費用^{たか}が高い
10. ^{とく}特^{とく}にない
11. ^たその他^た ()

→ ^{とい}問 1 2 へ

^{とい}問 1 2 ^{ぜんいん}全員^{ちいき}におたずね^{しょうがいしゃ}します。地域^すで^{かくほ}障 害 者^{とく}の^{ひつよう}住 まい^{おも}を^{なん}確保^{なん}するために^{なん}特に^{なん}必要^{なん}だと思^{おも}う
ことは何^{なん}ですか。(○は3つまで)

1. ^{たてもの}建物^す(^す住まい)が^かバリアフリー化^かされている(バリアフリー化^かできる)こと
2. ^{じゅうたくかいぞうとう}バリアフリーのための^{ひよう}住 宅 改造^{ほじょ}等^{ほじょ}(^{リフォーム}リフォーム)の^{ひよう}費用^{ほじょ}の^{ほじょ}補助^{ほじょ}があること
3. ^{ほしょうにん}保証人^{にゅうきょ}がいなくても^{にゅうきょ}入 居^{にゅうきょ}できるようにすること
4. ^{にゅうきょ}入 居^{いっばんじゅうたく}できる一般^{しょうかい}住 宅^{あつせん}の^{あつせん}紹 介^{あつせん}や^{あつせん}斡 旋^{あつせん}をするサービス^{あつせん}があること
5. ^かバリアフリー化^{しえいじゅうたくとう}された市営^{じゅうじつ}住 宅^{じゅうじつ}等^{じゅうじつ}を^{じゅうじつ}充 実^{じゅうじつ}すること
6. ^{きょうどう}共 同^{せいかつ}で生活^{かいじょう}し、^{しえん}介 助^う等^うの^す支 援^すを受け^すられる^す住 まい^す(^{グループホーム}グループホーム等^{とう})を^ふ増 やす^ふこと
7. ^{こべつ}個別^{せいかつ}で生活^{ひつよう}し、^{とき}必要な^{しえん}時に^うすぐ^うに^す支 援^すを受け^することが^すできる^す住 まい^すを^ふ増 やす^ふこと
8. ^す住 まい^{かん}に関する^{そうだん}相 談^{しょうかい}や^{おこな}紹 介^{そうだん}を^{もう}行 う^{もう}相 談^{もう}窓 口^{もう}を^{もう}設 け^{もう}ること
9. ^{とく}特^{とく}にない
10. ^たその他^た ()

問 1 3 全員におたずねします。住まいの確保のほかに障害者が地域で生活するために特に必要だと思うことは何ですか。(〇は2つまで)

1. 身近に介助者や相談できる相手がいること
2. 身近に仲間や家族がいること
3. 地域で生活できるだけの収入があること
4. 周囲の交通機関や公共施設などの環境が整備されていること
5. 防犯や災害時の支援などの仕組みが整っていること
6. 地域の人たちに障害や障害者への理解があること
7. 地域に休日や夜間でも外来診療や入院が可能な病院・診療所があること
8. 特にな
9. その他 ()

問 1 4 全員におたずねします。福祉のまちづくり（バリアフリー化）について、広島市が重点的に進めていく必要があるのはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 乗り降りがしやすいバス・電車を増やすこと
2. 駅の階段・段差、改札口等を整備すること
3. 公共の建物の階段・段差、出入口等を整備すること
4. 道路の段差、誘導ブロック等を整備すること
5. 視覚障害者向けの音声案内や音響信号機、聴覚障害者向けの文字案内などを充実すること
6. 交通機関や公共の建物などで、わかりやすいマークや色を活用した表示（ユニバーサルデザイン）を充実すること
7. 道路上にある自転車や看板など通行の妨げになる物を整理・撤去すること
8. 車いす使用者用駐車区画を充実すること
9. 障害者等に配慮されたエレベーターを充実すること
10. 車いす使用者等対応トイレを充実すること
11. 特にな
12. その他 ()

● 日常生活についておたずねします

問 15 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)

こ う 項 目	ひとりで できる	いちぶかいじょ 一部介助が ひつよう 必要	ぜんぶかいじょ 全部介助が ひつよう 必要
① しょくじ 食事	1	2	3
② とイレ トイレ	1	2	3
③ にゅうよく 入浴	1	2	3
④ いふく ちゃくだつ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ み 身だしなみ	1	2	3
⑥ いえ なか いどう 家の中の移動	1	2	3
⑦ がいしゅつ 外出	1	2	3
⑧ かぞくいがい ひと い し そつう 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ かね かんり お金の管理	1	2	3
⑩ くすり かんり 薬の管理	1	2	3

(問 15 で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と答えた方)

問 16 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ふ ぼ そ ふ ぼ きょうだい 父母・祖父母・兄弟 2. はいぐうしゃ おっと つま 配偶者(夫または妻) 3. こ 子ども	5. ほーむへるばー しせつ しょくいん ホームヘルパーや施設の職員 6. た ひと ぼらんてい あとう その他の人(ボランティア等)
--	--

(問 16 で 1. ～ 3. を答えた方)

問 17 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

①年齢(平成26年7月1日現在)

まん さい
満 歳

②性別(○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

③健康状態(○は1つだけ)

1. よい	2. ふつう	3. よくない
-------	--------	---------

問 1 8 日常生活で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分で身の回りのことが十分できない
2. 食事の準備が十分にできない
2. 健康状態に不安がある
3. 介助者の負担が大きい
4. 段差や階段など、住まいに支障がある
5. 外出するのに支障がある
6. 利用したい福祉サービスが十分利用できない
7. 緊急時に支援が得られない
8. 療育・教育について困っている
9. 将来の生活に不安を感じている
10. 特になし
11. その他 ()

問 1 9 食事の準備はどうしています。(○は1つ)

1. 自分でつくっている
2. 家族がつくっている
3. ホームヘルパーがつくっている
4. ほとんど外食している(食事回数の3分の2以上)
5. ほとんど弁当を買っている(食事回数の3分の2以上)
6. その他 ()

問 2 0 外出の状況について、お答えください。

(1) あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

1. 毎日外出する
2. 1週間に数回外出する
3. めったに外出しない
4. まったく外出しない

→ 「1」「2」「3」を選択した場合は、(2)へ

→ 「4」を選択した場合は、問 1 8 へ

(2) あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

1. 父母・祖父母・兄弟

2. 配偶者（夫または妻）

3. 子ども

4. ホームヘルパーや施設の職員

5. 一人

6. その他（ ）

(3) あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

1. 通勤・通学・通所

2. 訓練やリハビリ

3. 医療機関への受診

4. 買い物

5. 友人・知人に会う

6. 趣味やスポーツ

7. グループ活動への参加

8. 散歩

9. あまり外出しない

10. その他（ ）

(4) 外出する時に主に利用する交通機関は何ですか。(○はいくつでも)

1. J R（鉄道）

2. 電車

3. バス

4. アストラムライン

5. タクシー

6. 自分が運転する自家用車

7. 家族など自分以外が運転する自家用車

8. 自転車

9. その他（ ）

● 福祉サービス等の利用状況についておたずねします。

問 2 1 あなたは、障害支援区分（障害福祉サービスの必要性を明らかにするため心身の状態を総合的に示す区分）の認定を受けていますか。（○は1つ）

1. 区分1の認定を受けている	2. 区分2の認定を受けている
3. 区分3の認定を受けている	4. 区分4の認定を受けている
5. 区分5の認定を受けている	6. 区分6の認定を受けている
7. 非該当の認定を受けている	8. 認定を受けていない

問 2 2 障害福祉サービス等について、あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。（①から⑥のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答（番号に○）してください。）障害福祉サービス・地域生活支援事業の受給者証のある方はそれを見て記入してください。

区 分	現在利用しているか		今後利用したいか	
	して いる	してい ない	した い	しな い
①居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービス	1	2	1	2
②重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービス	1	2	1	2
③同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービス	1	2	1	2
④行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービス	1	2	1	2
⑤重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービス	1	2	1	2
⑥生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービス	1	2	1	2

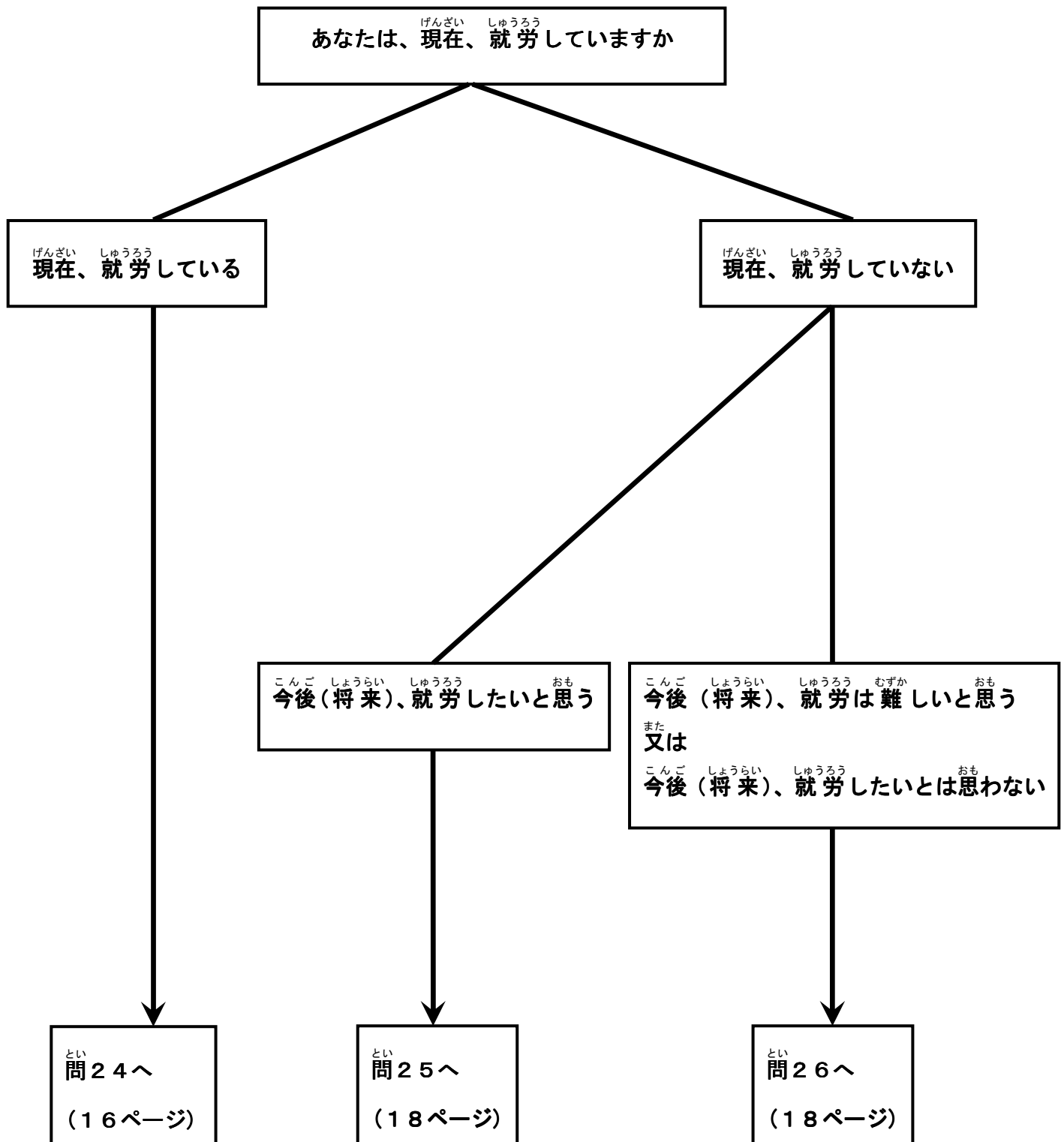
区 分	現在利用しているか		今後利用したいか	
	している	していない	したい	しない
⑦自立訓練（機能訓練） しんたいきのう 身体機能・ せいかつのうりよく 生活能力の維持・ こうじょう 向上のための必要な訓練を おこなう 行うサービス	1	2	1	2
⑧自立訓練（生活訓練） 地域での生活に困らないよう必要な訓練を行うサービス	1	2	1	2
⑨就労移行支援 つうじょう 通常の事業所で働きたい方に、 いってい 一定の期間、 しゅうろう 就労に ひつよう 必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービス	1	2	1	2
⑩就労継続支援（A型） 企業等で働くことが困難な方に、 しゅうろう 就労の機会の提供や せいさんかつどうとう 生産活動等の機会の提供、 ちしき 知識や能力の向上のための くんれん 訓練を行うサービス（雇用契約あり）	1	2	1	2
⑪就労継続支援（B型） 企業等で働くことが困難な方に、 しゅうろう 就労の機会の提供や せいさんかつどうとう 生産活動等の機会の提供、 ちしき 知識や能力の向上のための くんれん 訓練を行うサービス（雇用契約なし）	1	2	1	2
⑫療養介護 いりょう 医療が必要な方で、 ひつよう 常に介護を必要とする方に、 かた 主に昼間 びょういんとう に病院等において機能訓練、 りょうようじょう 療養上の管理、 かんり 看護など ていきょう を提供するサービス	1	2	1	2
⑬短期入所（ショートステイ） ざいたく 在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合などに、 しょうがいしゃ 障害者が施設に短期間入所し、 かた 入浴、 びょうき 排せつ、 ばあい 食事の かいご 介護などを行うサービス	1	2	1	2
⑭共同生活援助（グループホーム） やかん 夜間や休日、 きゅうじつ 共同生活を行う住居で、 おこな 入浴、 じゅうぎょ 排泄、 しょうじ 食事の介護や相談、 かいご 日常生活上の援助を行うサービス	1	2	1	2
⑮施設入所支援 しゅ 主として夜間、施設に入所する障害者（児）に対し、 にゅうよく 入浴、 はい 排せつ、 しょうじ 食事の介護などの支援を行うサービス	1	2	1	2
⑯相談支援 ふくし 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な じょうほう 情報の提供や助言などを行うサービス	1	2	1	2

区 分	現在利用しているか		今後利用したいか	
	している	していない	したい	しない
⑰移動支援、社会参加支援ガイドヘルパー 円滑に外出できるよう、移動を支援するサービス	1	2	1	2
⑱地域活動支援センター 創作活動又は生産活動の機会の提供を行うサービス	1	2	1	2
⑲日中一時支援 施設などで日中に見守りなどを行うサービス	1	2	1	2
⑳児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、 集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス	1	2	1	2
㉑放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、生活能力 向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進など の支援を行うサービス	1	2	1	2
㉒保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童と の集団生活への適応のための専門的な支援などを行う サービス	1	2	1	2
㉓医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、 集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービス	1	2	1	2
㉔福祉型児童入所支援 障害児入所施設に入所する障害児に対して、保護・ 日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービス	1	2	1	2
㉕医療型児童入所支援 障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする 障害児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の 付与や治療を行うサービス	1	2	1	2
㉖その他 ()	1	2	1	2

問 2 3 福祉サービス等について、広島市が重点的に、事業者を増やしたり質を向上させるなどの取組をする必要があるのはどのようなことだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 在宅での生活を支える居宅介護（ホームヘルプ）などの訪問サービス
2. 外出を支援するサービス
3. 一時的に家庭での生活が困難になった場合に利用する短期入所（ショートステイ）や日中一時支援
4. 早期の療育
5. 障害児を対象とした通所サービス（「児童発達支援」「放課後等デイサービス」など）
6. 障害児を対象とした入所サービス（「福祉型児童入所支援」など）
7. 放課後に活動できる場（「特別支援学校放課後対策事業」など）
8. 夏休みなどの長期休暇中に活動できる場（「いきいき活動事業」など）
9. 夏休みなどの長期休暇中の保護者などの活動を支援する事業（「障害児の長期休暇支援事業」など）
10. 介護や療養を行う通所サービス
11. 介護や療養を行う入所サービス
12. 在宅で利用できる医療的なケア
13. グループホームなどにおけるサービス
14. 機能訓練や生活訓練
15. 外出の機会を増やすよう助成する事業（「公共交通機関利用助成事業」など）
16. コミュニケーションを支援する事業
17. 企業等で働くための訓練
18. 企業等で働くことが困難な障害者に対する福祉的就労の場の提供
19. 各種サービスに係る利用者負担の軽減制度
20. 弁当などの配食サービス
21. 特にない
22. その他（

● 就労（一般企業での就業や自営業・内職等の就労をいい、作業所などでの福祉的就労を除きます。）についておたずねしますので、次の図であてはまるところの質問を回答してください。



問24 現在、就労している方におたずねします。

(1) あなたは、どのような働き方で仕事をしていますか。(○は1つ)

1. 自営業	2. 家の仕事の手伝い	3. 正規の職員・社員	4. 契約社員・嘱託員
5. 内職	6. 日雇い	7. パート・アルバイト	8. 派遣社員
9. その他 ()			

(2) あなたは、仕事をする上で、障害や病気があることをオープンにしていますか。

1. している	2. していない
---------	----------

(3) あなたは、現在の仕事を始めてから何年になりますか。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1年以上3年未満	3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満	5. 10年以上20年未満	6. 20年以上

(4) あなたは、平均して1日に何時間くらい、また、1週間に何日くらい働いていますか。

1日の勤務時間 (数字を記入)	1週間の勤務日数 (数字を記入)
1日に 時間くらい	1週間に 日くらい

(5) あなたは、現在の仕事に就く前に、別の仕事をしていましたか。

1. していない	2. していた
(下の()内にも記入してください)	
現在の仕事に就く前までの転職の回数 () 回	

(6) あなたは、現在の仕事をどのような方法で見つけましたか。(○はいくつでも)

1. 公共職業安定所 (ハローワーク)	2. 学校の紹介
3. 職業訓練校・障害者職業能力開発校の紹介	
4. 障害者就業・生活支援センターの紹介	
5. 施設の紹介	6. 合同面接会
7. 知人・縁故関係者の紹介	
8. 民間の職業紹介所	9. インターネット
10. 求人広告・求人雑誌	
11. 起業 (親族の事業を引き継いだ場合も含む)	
12. その他 ()	

(7) 現在、就労について、特に不満に思っていることは何ですか。(○は3つまで)

1. 希望する仕事に就いていない → 問27へ	2. 希望する働き方でない → アへ
3. 勤務時間が長い → イへ	4. 勤務時間が短い → イへ
5. 勤務日数が多い → ウへ	6. 勤務日数が少ない → ウへ
7. 賃金が安い → 問27へ	8. 通勤が困難である → 問27へ
9. 職場で差別や偏見がある → 問27へ	
10. 職場で良い人間関係が築けない → 問27へ	
11. 困ったときに相談する人がいない → 問27へ	
12. 特にない → 問27へ	
13. その他 () → 問27へ	

ア 問24(7)で「2. 希望する働き方でない」に○をつけた方におたずねします。あなたは、今後、どのような働き方を希望しますか。(○は2つまで)

1. 自営業	2. 家の仕事の手伝い	3. 正規の職員・社員	4. 契約社員・嘱託員
5. 内職	6. 日雇い	7. パート・アルバイト	8. 派遣社員
9. その他 ()			

→ 問27へ

イ 問24(7)で「3. 勤務時間が長い」又は「4. 勤務時間が短い」に○をつけた方におたずねします。あなたが希望する勤務時間は、1日に何時間くらいですか。

1日の勤務時間 (数字を記入)	時間くらい
-----------------	-------

→ 問27へ

ウ 問24(7)で「5. 勤務日数が多い」又は「6. 勤務日数が少ない」に○をつけた方におたずねします。あなたが希望する勤務日数は、1週間に何日くらいですか。

1週間の勤務日数 (数字を記入)	日くらい
------------------	------

→ 問27へ

問 2 7 全員におたずねします。障害者が就労するために特に必要だと思うことは何ですか。

(○は5つまで)

1. 通勤しやすいこと	2. 働きながら安心して通院できること
3. 希望する勤務時間を選ぶこと	4. 希望する勤務日数を選ぶこと
5. 障害に応じた仕事があること	6. 賃金面で満足のいく待遇が受けられること
7. 自宅で仕事ができること	8. 職場での差別や偏見を無くすこと
9. 職場で良い人間関係が築けること	10. 職場に指導者がいること
11. 職場に介助者がいること	12. 職場に理解者がいること
13. 相談できるジョブコーチ（障害者が職場に対応できるよう、障害者や雇用主等に対して支援・助言等を行う援助者）などの支援者がいること	
14. 生活面での相談もできる窓口があること	
15. 職場に障害者用の設備や機器が整っていること	
16. 就職前に自分の仕事の適性を判断・評価してもらうこと	
17. 就職前に専門的な技能を習得するための訓練を受けること	
18. 就職前に生活のリズムを整えるなどの訓練を受けること	
19. 希望する職場で試験的に一定期間働く機会があること	
20. 障害者を雇用する企業を増やすこと	
21. 自らが事業を営む（親族の事業を引き継ぐ場合も含む）ために、計画や経営、資金の支援があること	
22. 特にない	
23. その他（)	

● ICT（情報・コミュニケーション技術）の利用についておたずねします。

問 2 8 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこ（誰）から入手しますか。（○は3つまで）

1. 広報紙「ひろしま市民と市政」	2. 市のホームページ
3. 新聞やテレビ、ラジオ	4. 市のホームページ以外のインターネット
5. 区役所などの市の窓口	6. 福祉施設、事業所
7. 医療機関	8. 障害者団体、患者団体など
9. 民生委員・児童委員	10. 障害者相談員
11. 家族や友人・知人	12. 特にない
13. その他（)	

問 29 あなたは、インターネットを利用したパソコンやその他の通信機器（パソコンに近い機能のある多機能携帯電話（スマートフォン等））を持って（使って）いますか。

1. 持って（使って）いる → 問 30へ 2. 持って（使って）いない

問 30 問 29で「1. 持って（使って）いる」に○をつけた方におたずねします。

(1) あなたは、パソコン等の使い方をどこで（誰から）覚え了吗か。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 自分で勉強した | 2. 家族や友人・知人など |
| 3. 小学校・中学校・高校 | 4. 職場や福祉施設など |
| 5. パソコン教室 | |
| 6. その他（ | ） |

(2) あなたは、パソコン等をどのような用途で使っていますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 仕事 | 2. 学習 |
| 3. 買い物 | 4. ゲームなどの遊び |
| 5. ブログやホームページ等の閲覧 | 6. 自分のブログやホームページ等での発信 |
| 7. 情報の検索や相談 | 8. 銀行振り込み（ネットバンキング） |
| 9. メール、掲示板、ツイッター等によるコミュニケーション | |
| 10. 特にない | |
| 11. その他（ | ） |

● ^{そうだんとう}相談等についておたずねします。

^{とい}問 3 1 ^{なや}あなたが、^{こま}悩みや^{こま}困ったことを^{そうだん}相談するの^{だれ}は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. ^{かぞく} 家族・ ^{しんせき} 親戚	2. ^{きんじょ} 近所の ^{ひと} 人
3. ^{ゆうじん} 友人・ ^{ちじん} 知人	4. ^{くやくしょ} 区役所、 ^{じどうそうだんしよ} 児童相談所などの ^{ぎょうせいきかん} 行政機関
5. ^{しょうがいしやだんたい} 障害者団体、 ^{かんじやだんたい} 患者団体や ^{かぞくかい} 家族会	6. ^{みんせいいいん} 民生委員・ ^{じどういいん} 児童委員
7. ^{しょうがいしやそうだんいん} 障害者相談員	8. ^{そうだんしえんじぎょうしよ} 相談支援事業所
9. ^{しせつ} 施設や ^{さぎょうしよ} 作業所の ^{しよくいん} 職員	10. ^{せわにん} グループホームの世話人
11. ^{きょたくかいご} 居宅介護のヘルパー	12. ^{はったつしょうがいしやしえん} 発達障害者支援センター
13. ^{ちいきほうかつしえん} 地域包括支援センター	14. ^{しゃかいふくしきょうぎかい} 社会福祉協議会（ ^{たんとうしや} かけはしの担当者）
15. ^{いし} 医師や ^{かんごし} 看護師などの ^{いりょうかんけいしや} 医療関係者	16. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生
17. ^{しよくば} 職場の ^{ひと} 人	
18. ^{しょうがいしやしゆうぎょう} 障害者就業・ ^{せいかつしえん} 生活支援センター	
19. その他（	）
20. ^{なや} 悩みや ^{こま} 困ったことはない	
21. ^{そうだん} 相談したいができない（しない）	→ ^{とい} 問 3 2 へ

→ 「21. ^{そうだん}相談したいができない（しない）」以外に○をした方は^{いがい}問 3 3 へ

問 3 2 問 3 1 で「21. 相談したいができない（しない）」と答えた方におたずねします。相談できない（しない）主な理由は何ですか。（○は2つまで）

1. 誰（どこ）に相談していいかわからない
2. 身近な地域に相談できるところがない
3. 夜間や休日などに相談するところがない
4. 相談しても満足な助言や回答が得られない
5. プライバシー保護に不安がある
6. 特にない
7. その他（ ）

→ 問 3 3 へ

問 3 3 全員におたずねします。広島市には、障害者の相談に応じて、福祉サービスの利用援助や各種情報の提供、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成を行っている相談支援事業所がありますが、知っていますか。（○は1つ）

1. 相談したことがある
2. 場所や連絡先を知っているが、相談したことはない
3. あるのは聞いたことはあるが、場所や連絡先がわからない
4. 知らない

問 3 4 全員におたずねします。サービス等利用計画・障害児支援利用計画やセルフプランは作成していますか。（○は1つ）

1. サービス等利用計画を作成した
2. 障害児支援利用計画を作成した
3. セルフプランを作成した
4. 作成していない
5. わからない

問35 全員におたずねします。相談事業を充実するために（相談したときに満足できるよう）

特にどのようなことをすればいいと思いますか。（〇は3つまで）

1. 相談員のスキルアップ研修を行う
2. 専門性のある相談員を配置する
3. 気軽に相談できる窓口の数を増やす
4. 専門的な相談機関を整備する
5. 1か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する
6. 夜間や休日なども相談できる窓口を整備する
7. 相談員が自宅などに来てくれる訪問相談を行う
8. 障害者による相談対応（ピアカウンセリング）を充実する
9. 特にない
10. その他（ ）

● 障害者の権利を守る取組についておたずねします。

問36 全員におたずねします。障害者権利条約や障害者差別解消法について、お答えください。

(1) 障害者権利条約について知っていますか。（〇は1つ）

1. 条約の内容も含めて知っている
2. 詳しい内容は知らないが、知っている
3. 知らない

障害者権利条約（正式名「障害者の権利に関する条約」）は平成18年12月に採択されたもので、障害がある人の権利を保護するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のあるなしに関わらず暮らしやすい環境を整えるための施策を幅広く定めています。日本は、平成26年1月20日に世界で141番目の条約締約国となり、同年2月19日から国内で条約が発効しています。

(2) 障害者差別解消法が制定されたことを知っていますか。（〇は1つ）

1. 法律の内容も含めて知っている
2. 詳しい内容は知らないが、知っている
3. 知らない

障害者差別解消法（正式名「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」）は、平成25年6月に、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として制定された法律で、平成28年4月1日から本格的に施行されます。

問37 障害者に対する市民の理解が深まってきたと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 深まっている | 2. まあまあ深まっている |
| 3. どちらとも言えない | 4. あまりそう思わない |
| 5. まったく思わない | |

問38 あなたは、これまでに、障害や病気があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ある → 問39へ | 2. ない → 問40へ |
|--------------|--------------|

問39 問38で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 無視された |
| 2. じろじろ見られた |
| 3. いやなことを言われた |
| 4. 暴力をふるわれた |
| 5. 話しかけたり意見を言ったりしても、相手にされなかった |
| 6. 仲間はずれにされた |
| 7. 自分のお金や持ち物を無断で使われた、処分された |
| 8. 自分宛に届いた手紙やメールなどを勝手に読まれた、内容を教えてもらえなかった |
| 9. 自由に外出させてもらえなかった |
| 10. 職場で賃金や待遇に差をつけられた |
| 11. 一方的に解雇された |
| 12. 施設やお店の利用や交通機関への乗車を拒否された |
| 13. 通いたい学校などへの入学を断られた |
| 14. 希望する住まいを借りる際に、家主や不動産屋に断られた |
| 15. 結婚や恋愛のときに、相手の家族などから反対された |
| 16. 異性からいやなことをされた |
| 17. その他 () |

→ 問40へ

問40 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない |

問 4 1 障害者の権利を守るため（差別や偏見をなくすため）に、広島市が主にどのような取組をする必要があると思いますか。（○は2つまで）

1. 障害者の権利を守り、被害を救済するルールづくりなどの取組
2. 障害者が相談できる窓口の整備や相談員のスキルアップ
3. 新たなルールづくりを行うのではなく、今ある法律などの活用
4. 市民の障害及び障害者への理解を深めるための啓発
5. 福祉についての教育の充実
6. 障害者支援や障害者への理解を広める活動などを行うボランティアの育成
7. よくわからない
8. 特にない
9. その他（ ）

● 災害時の避難等について

問 4 2 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。（○は1つだけ）

1. できる
2. できない
3. わからない

問 4 3 災害が発生した時に、家族が不在の場合や一人暮らしの場合の支援者の有無についておたずねします。

(1) 地域であなたを助けてくれる人はいますか。（○は1つだけ）

1. いる → (2)へ
2. いない
3. わからない

(2) 問 4 4 (1)で「1. いる」に○をした方におたずねします。

助けてくれる人は具体的にはどなたですか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 2. 障害者相談員 |
| 3. 福祉施設、事業所の方 | 4. 障害者団体、患者団体などの方 |
| 5. 医療機関の方 | 6. 友人・知人 |
| 7. 近所の方 | 8. その他（ ） |

とい 4 4 ひなんしえん さくせい
問 4 4 避難支援プランは作成していますか。(○は1つだけ)

1. さくせい 作成している
2. さくせい 作成していない
3. わからない

とい 4 5 か じ じしんとう さいがい じ こま ふあん おも なん
問 4 5 火事や地震等の災害時に困ることや不安に思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. とうやく ちりょう う 投薬や治療が受けられないこと
2. ほ そうぐ しょう こんなん 補装具の使用が困難になること
3. ほ そうぐ にちじょうせいかつようぐ にゅうしゅ 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
4. きゅうじょ もと 救助を求めることができない こと
5. あんぜん じんそく ひなん 安全なところまで、迅速に避難することができないこと
6. ひがいじょうきょう ひなんばしょ じょうほう にゅうしゅ 被害状況、避難場所などの情報が入手できないこと
7. しゅうい 周囲とコミュニケーションがとれないこと
8. ひなんばしょ せつび とう せいかつかんきょう 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境
9. とく 特にない
10. その他 ()

とい 4 6 さいがい じ ひなんしよ ふあん おも なん
問 4 6 災害時に、避難所で不安に思うことは何ですか。(○はいくつでも)

1. みずか じょうきょう ひつよう しえんないよう しゅうい ひと かぞくとう つた 自らの状況や必要な支援内容を周囲の人は家族等に伝えることができるか
2. しゅうい ひと ひつよう しえん う 周囲の人から必要とする支援を受けることができるか
3. ひつよう そうだん かいご かんごとう う 必要な相談、介護、看護等を受けることができるか
4. ひつよう せつび しょくりょう いやくひんとう 必要な設備、食料、医薬品等があるか
5. とく 特にない
6. その他 ()

● 障害者施策全般についておたずねします。

問47 今までのお答えを踏まえて、今後、広島市で重点的に進める必要がある障害者施策はどのようなことだと思いますか。(〇は4つまで)

1. 在宅での生活を支援するサービスや、日中活動の場の提供などの福祉サービスを充実すること
2. グループホームなどの障害者の共同住宅を整備すること
3. バリアフリー化された市営住宅を増やすなどの取組を行うこと
4. 道路や建物などの段差を解消するなど、福祉のまちづくりを推進すること
5. 福祉や医療のサービスに係る利用者負担を軽減すること
6. 障害者の就労を促進する取組を行うこと
7. 健康診断を充実するなど、障害者の健康づくりの取組を行うこと
8. 障害者向けの情報提供サービスを充実するなど、情報・コミュニケーション支援を推進すること
9. スポーツやレクリエーション、文化活動などの社会参加活動を推進すること
10. 手当や年金を充実すること
11. 障害や障害者への理解を深めるための啓発を行うなど、障害者の権利を守る取組を推進すること
12. 相談や情報を提供する体制を充実すること
13. 成年後見制度を使いやすくすること
14. 職業に関する教育など、障害者の個々のニーズに対応した教育を充実すること
15. 障害がある子どもと障害がない子どもがともに学ぶ教育を推進すること
16. 放課後や夏休みに活動できる場を充実すること
17. 災害等の非常時の連絡通報・避難体制を整備すること
18. 特にない
19. その他 ()

問48 障害者団体等に、どのような取組を期待しますか。(〇はいくつでも)

1. 障害者の生活を支援する取組
2. 行政に対し障害者福祉の改善等を要望する取組
3. 障害者のスポーツやレクリエーション、文化活動などの社会参加活動の支援
4. 障害や障害者への理解を深めるための啓発
5. 障害者の権利を守る取組
6. 相談に応じたり情報を提供する取組
7. 特にない
8. その他 ()

（
いじょう
以上でアンケートは終わりです。ご協 力 ありがとうございます。
お
きょうりょく
つぎ
次のページは自由記入欄です。
じゅうきにゅうらん
）

じゅうきにゅうらん
【自由記入欄】

あなたが、^{ひろしまし}広島市の^{しょうがいしゃふくし}障害者福祉の^{とりくみ}取組について^{おも}思っていることや^{きぼう}希望することなど、
どんなことでも^{じゅう}自由^かにお書きください。